

武藤一雄 むつしゅう 宗教學者。大正二年八月、長崎縣生れ（一九三一）。

昭和十一年東京帝國大學法學部卒、十二年京都帝大文學部卒。松本高等學校、第二高等學校各教授を経て、京大教養學部助教授。

著書「キリスト者の書信」ツルケス主義批判」（北林嘉藏合著、昭和

二十五年四月、二十五年新教出版社「基督教論叢」）、（信仰と倫理」

キエルケゴールの問題」（昭和二十五年五月一日京都・法藏館）、戦

後日本精神史」（合著、久山康編、昭和二十六年七月十五日基督教学

徒兄弟団、創文社発売）等。